

部下とのコミュニケーション実践研修

～心理的安全性の高い職場を作る

「チームの心理的安全性を向上させ、
メンバーの主体性行動を引き出し、
成長しやすい環境をつくる」👉

【会場】 横手市交流センター
Y2ぶらさ 3階 研修室3

【受講数】 先着30名程度

【受講料】 会員企業 無料
会員以外企業 一人25,000円

【締切】 9月30日(火)まで

【開催日時】

2025年

10月29日(水)

10:00~16:45

会員企業
無料

【講師 氏名】

(株)インソース 講師

たかはし ひであき

高橋 秀明 氏

＜プロフィール＞

前職の自動車メーカーでは、海外のお客さま、販売店、現地法人を相手にクルマを売った後のアフターセールスの仕事に従事。
物流企画・商品企画・販売企画・事業企画といった企画部署で21年、海外駐在を含む海外営業部署で10年、ラスト6年間は、グローバルアフターセールス本部の教育推進事務局にて教育プログラムの企画/導入・人材育成に向けた評価制度の設計にも従事。
すべての研修では、前職でのリアルな経験談を織り込みながら「実践で役立つ」を第一に受講者の皆さんに響く、共感力のある発遣を全力投球で展開中。
2023年インソース講師に就任

お問合せ先 **秋田県南工業振興会**

〒013-0023 横手市中央町8-12 横手市ふれあいセンターかまくら館5階
横手市商工観光部 商工労働課内
電話:0182-36-2384 FAX:0182-32-4021

裏面が、プログラム、お申込用紙等になっております。

【到達目標】

- ① 心理的安全性の鍵を握る管理職・リーダーが、まずは自分の行動を変える必要があることを自覚する
- ② アサーティブコミュニケーションの4つのステップを学び、言いたいことを自他を尊重しながら伝えられるようになる
- ③ 1対1面談で部下の本音や悩みを把握し、主体性を引き出せるようになる
- ④ 情報と成功体験を共有する文化の作り方を学び、チーム全体の心理的安全性を向上させることができるようになる

プログラム

1. 従業員エンゲージメントとは

- (1) 従業員エンゲージメントとは
- (2) 働く人が幸せな状態とは～地位材と非地位材から考える
- (3) 従業員エンゲージメントが注目される背景

2. 心理的安全性とは

【ワーク】部下の視点で、自分たちの職場が心理的安全性の高い職場かチェックする

- (1) 心理的安全性とは
- (2) 心理的安全性不足が引き起こす4つの不安
- (3) 心理的安全性を高めることのメリット

【参考】心理的安全性がテレワークをソフト面から支える

- (4) 心理的安全性の高い職場＝馴れ合いではない

3. 心理的安全性を高めるためのポイント

4. 自分の行動を変え、心理的安全性を高める

- (1) 自分が変わらなければ、周りは変わらない
- (2) 上司の言葉が心理的安全性を左右させる
- (3) 自己開示する
- (4) リーダー自ら失敗を共有する
- (5) 自分からコミュニケーションを取る～あいさつ・感謝・雑談

5. 言いたいことを伝えるアサーティブコミュニケーション

- (1) 「言いたいことが言えない職場」は心理的安全性を低下させる
- (2) 心理的安全性のない職場こそ、アサーティブコミュニケーションが必要
- (3) 自他を尊重し、言いたいことを伝える
- (4) リーダーが率先して、アサーティブになる
- (5) アサーティブコミュニケーションの4ステップ

【ケーススタディ】部下をアサーティブに注意する練習をする

6. 本音で話せる環境を作る1対1面談

- (1) 本音で話せる環境を作る「1対1面談」
- (2) 1対1面談はメンバーのためにある
- (3) 1対1面談を行うメリット
- (4) 1対1面談で話すテーマ

【ワーク】部下を1名想定し、1対1面談をするなら①どのくらいの頻度で②どのような話をするのか考える

【参考】1対1面談のプロセス例～キャリア開発が目的の面談の場合

- (5) 1対1面談を行う際の注意点

【参考】オンラインでの1対1面談のポイント

7. チームの心理的安全性を高める～仕組み・文化を作る

- (1) チームの心理的安全性が向上する仕組み・文化
- (2) 情報共有を促進させる
- (3) メンバーの成果を認める～成功体験のシェア
- (4) 心理的安全性を脅かすメンバーに対処する
- (5) チームとしての振り返りの時間を確保する～KPT
- (6) 会議における心理的安全性の担保のポイント

【ワーク】会議における心理的安全性を担保するためにできることを、具体的に考える

8. まとめ

心理的安全性の重要性は認識されつつありますが、実際にどうすればよいのか悩まれている管理職・リーダーの方が多いのではないのでしょうか。本研修では、アサーティブコミュニケーションや1対1面談のポイント等、心理的安全性を高めるために明日から実践できることをお伝えします。

秋田県南工業振興会 事務局宛

FAX 0182-32-4021

【当振興会ホームページの申込フォームからでもできます。】

※9月30日（火）までお申し込みくださいますようお願いいたします。

※参加者が5名に満たない場合は、延期又は中止する場合があります。

部下とのコミュニケーション実践研修受講申込書

令和7年 月 日

貴社(団体)名：		
所在地：〒		TEL：
		FAX：
メールアドレス：		
部署・職名	(ふりがな) 参加者氏名	年齢